

# 平成7年度 交通災害共済に加入を!

～少ない掛金で大きな補償～

## 共済見舞金等級表

等級	災害の程度	金額
1等級	死亡	120万円
2等級	自動車損害賠償保障法施行令別表の等級区分第1級の各号に掲げる障害	70万円
3等級	自動車損害賠償保障法施行令別表の等級区分第2級の各号に掲げる障害	40万円
4等級	治療を要した期間が7月を超え、かつ、入院40日以上を含む実治療日数110日以上の傷害	18万円
5等級	治療を要した期間が6月を超え、かつ、入院30日以上を含む実治療日数90日以上の傷害	15万円
6等級	治療を要した期間が5月を超え、かつ、入院21日以上を含む実治療日数75日以上の傷害	12万円
7等級	治療を要した期間が4月を超え、かつ、入院14日以上を含む実治療日数60日以上の傷害	10万円
8等級	治療を要した期間が3月を超え、かつ、入院7日以上を含む実治療日数45日以上の傷害	8万円
9等級	治療を要した期間が2月を超え、かつ、入院通院の実治療日数30日以上の傷害	6万円
10等級	治療を要した期間が1月を超え、かつ、入院通院の実治療日数15日以上の傷害	4万円
11等級	入院通院の実治療日数7日以上の傷害	2万円



交通安全共済は、住民が交通事故により死亡したりけがをした時、その被災者や家族に見舞金を贈り、生活の安定と福祉の増進に役立てるため県内一二市町村が共同運営している相互扶助制度です。

加入できる人は、平成7年4月1日(年途中の場合は申込み日)に県内市町村区域内に居住し住民基本台帳、又は外国人登録されている方です。

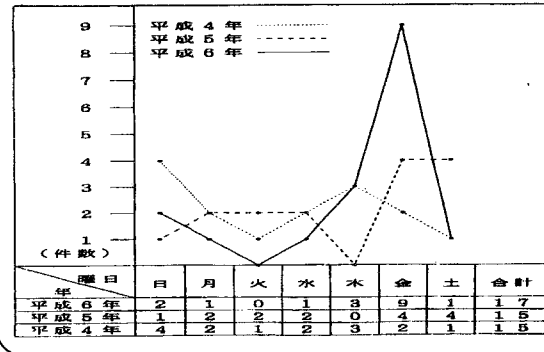
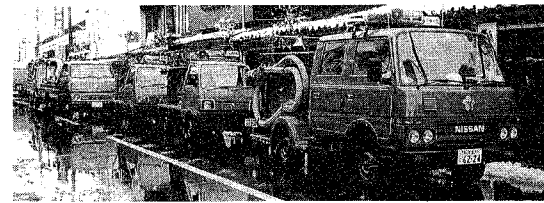
ただし、学校等に在学し親元より離れ住居を受け生活している方は、登録の有無にかかわらず加入できません。

なお、昨年度より交通災害制度が改正されています。

①会費が年五〇〇円に増額。  
②見舞金支給等級表が11級(別表)に。  
③交通事故証明書がないと見舞金支給が9級(6万円)が限度。

その他に身障者用車いすによる交通事故が認められ、死亡弔慰金・葬祭費が増額されました。交通事故は誰もが遭いたくないと思っています。しかし、いつどこで遭うかわかりません。ぜひ、この機会に加入して万一の交通事故に備えてください。

## 出番が少ないことを願って...



1月6日、恒例の消防出初式が行われました。

関係者約50名が諏訪神社に集まり、無事故・無火災の祈願と20台の車両のおはらいを行いました、そのあと町内をパレードし、火の用心を呼びかけました。

昨年の小須戸町の火災件数は二件でした。ちなみに過去三年間の白根地区消防署管内の曜日別火災発生状況をグラフにしてみると、昨年は金曜日が約53%を占めました。週末は気がゆるむのでしょうか。まだまだ寒い日が続きます。ストーブなどの暖房器具には充分お気をつけください。

## 今年も元気に!!

### リハビリ教室 お正月お楽しみ会



1月12日、毎月定例のリハビリ教室が開催されました。

外は小雪の舞う寒い一日でしたが、皆さん杖をつきながら迎えるのバスにゆられ役場に全員集合。最初に保健婦が血圧測定をした後、昔なつかしいスゴクゲームを楽しみました。サイコロを投げる手にも思わず力が入り、寒さで縮んだ手足も伸びて楽しいリハビリになりました。

今年も病气やケガに負けず、たくさん楽しい思い出を作ってください。

## かるた大会 - 幼稚園 -



1月23日、小須戸幼稚園で「かるた大会」が行われました。

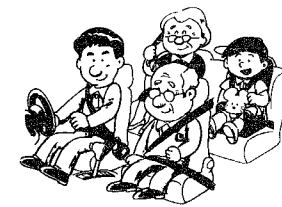
正座をして、手はひざの上、後半戦では手を頭の上に乗せた体制で、園長先生の声に耳を澄まし、真剣な表情でかるたを探していました。

一番多くて23枚を取った園児もいて、みんな家での日頃の練習の成果を発揮していました。

## 小須戸町の交通事故件数

	平成5年	平成6年	増減数	増減率
件数	65	56	△9	△13.8%
死者数	0	1	1	100%
傷者数	86	71	△15	△17.4%

平成6年1月から12月までの当町における交通事故発生状況は次表のとおりです。



毎月10日は交通安全の日  
～2月の標語～  
冬こそ  
シートベルトを  
確実に装着

## ワカサギ釣り

厳冬、湖にはった永に丸い穴を開けて釣るワカサギの穴釣りは、冬の風物詩です。それで、ワカサギを冬の季語とされている方も多いと思います。しかし、冬ではなく、春の季語となっている歳時記もあります。日本は縦に長く、ワカサギは全国に広く分布しているため、地域によって違って来るからでしょう。

ワカサギは、公魚、若鷺、鮎などと書きます。山陰や北陸では、アマサギと呼ぶこともありますが。北海道や東北で、キュウリと呼ぶ魚もこの仲間です。ワカサギは体長十五センチほどで、半透明で銀色に光るスマートな魚です。味もよいので、釣り人に人気があります。

釣り場としては、諏訪湖や榛名湖、松原湖や山中湖、河口湖などが知られています。



しかし、本来は北日本の淡水にも汽水にもすみ魚で、サケに似た生態です。環境の変化に強いため、全国の天然湖、人造湖、ため池などに移されて繁殖したのです。

ワカサギは、塩焼きやつけ焼き、南蛮漬けや魚田、つくだ煮など、いろいろな調理法があります。島根県の宍道湖でとれるワカサギは、「宍道湖七珍」の一つとして珍重されています。照り焼きにして熱いごはんに乗せ、お茶を注いだ「柳かけ」というお茶漬けは郷土料理の一つです。

ワカサギの穴釣りのシーズンは、寒さが厳しく、暖房などのエネルギー需要が増える時期です。二月は、「省エネルギー月間」です。エネルギーの有効活用を、工夫したいものです。

